

# みさき

54号



議会HPへアクセスします

美咲町議会だより

2018年11月10日発行

## 主な内容

決算審議 ②～⑤

こんなことが決まりました ⑥～⑦

委員会の活動 ⑧～⑨

10議員が町政を問う ⑫～⑰



大きく育て美咲の子ども 大地を踏みしめ 目指せ頂

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

表紙関連記事23ページ

平成29年度  
決算認定

## 90項目の意見を付して 全会一致で承認

各委員が決算や事業内容をチェック

3日間にわたり決算認定特別委員会を開催し、29年度決算について各委員からの意見を集約。



決算認定特別委員会の報告書を  
貝阿彌議長へ提出

決算審査において各議員から出された指摘事項90項目をまとめた報告書を松田委員長、松島幸一副委員長から貝阿彌議長へ提出。



議会からの要望書を定本町長へ提出

決算認定特別委員会からの報告書を基にまとめた議会からの要望書を貝阿彌議長、松島啓副議長から定本町長へ提出。



# 決算認定特別委員会

町の前年度決算について認定審査を行うために設置される委員会です。

委員長／松田英二 副委員長／松島幸一 ほか全議員を委員とする14人で審査しています。

来年度に  
向けて

## 全体総括意見を付す！

本会議での委員長報告において指摘した、特に付しておくべき全体総括意見は以下の通りです。

意見

### PDCAサイクルによる業務

予算の計画、事業の実施、決算のチェック、改善への予算要求というPDCAサイクルを設定し、全職員に意識を持たせること。

意見

### 合併特例債の活用

5年間延長される合併特例債を活用し、庁舎の防災機能強化などの広範囲にわたる協議を早急に進めること。

意見

### 滞納整理の実施

滞納整理の主体を徴収対策室が担い、職員による直接訪問も含めた納付相談を行い、未収金の解消を行うこと。

意見

### 適正な人員配置計画

職務の効率化を図り、適正な人員配置に努めること。特に専門的知識を持つ職員の採用・育成には十分に配慮すること。

意見

### 規範意識の徹底

予算・条例・要綱などに沿った対応が行われているかを確認する体制や規範意識の徹底を行う体制を全職員で構築すること。

意見

### 水道有収率の改善

精度の高い漏水調査や配水池など機械設備の総点検を実施し、有収率の平均を90%以上に向上させること。

意見

### 介護保険事業の検証

さらなる介護保険料の抑制につなげるため、第6期事業の検証を行い、それを第7期計画に生かすこと。

意見

### 義務教育学校丁寧な説明を

具体策を早期に議会に示した上で執行部・教育委員会・議会が三者一体となり、住民への丁寧な説明を行うこと。



- 9月定例会：前年度決算を審査・認定

- 議会からの指摘・意見をとりまとめ
- 来年度予算などへの要望書を提出

- 3月定例会：来年度予算案を審議・承認

決算認定特別委員会では、決算状況や事業内容をチェックし、「来年度予算にどう反映させるか」という視点で審査を行いました。

# 決算審査 私の意見!

29年度決算  
(一般会計)

歳入 110億3,346万円(前年度比3.1%減)  
歳出 103億0,476万円(前年度比2.7%減)

【※決算額は1万円未満四捨五入】

全議員14人を委員とする、平成29年度歳入歳出決算認定特別委員会が設置され、9月12日から14日までの3日間にわたり決算審査を行いました。

今回の審査では、①議会が議決した予算が効果的・効率的に執行されているか、②決算における評価を来年度予算編成や役場の運営にどのように反映させるか、という点を中心に審査を行いました。

ここでは各委員から出された90項目の指摘事項のうち、主な意見を掲載します。

## 福祉・教育

主な事業 学校運営、学力向上、子どもの貧困、就学支援、障がい者支援、生活保護など

民生費	27億5,996万円
教育費	8億5,144万円 他



左居委員

### 児童虐待、増加傾向

児童虐待相談件数が深刻であり、適切な対応を求める。



林田委員

### 健康で長生きを

健康寿命延伸へのさらなる取り組み、また配食サービス事業の充実を求める。



山田委員

### 学力向上に向け研修を

学力向上に向け、県教委を招いて教員の研修計画を立て、広く全体で行うよう求める。

## 暮らし充実

主な事業 庁舎・公用車管理、健康づくり、道路整備、消防団活動など

議会費	1億0,179万円
総務費	15億5,541万円
衛生費	10億9,135万円
土木費	9億6,132万円 他



金谷委員

### 専門職員の配置が必要

社会福祉士や心理士などの専門職員の配置に向け、協議を行うよう求める。



山本委員

### なり手不足が今後の課題

愛育委員や栄養委員のなり手不足、高齢化への対策を求める。



江原委員

### 早期の受診が大切

各種健診やワクチン接種の受診率向上に向けた周知と対策を求める。

## 観光・産業

**主な事業** 農林業振興、観光推進、6次産業化支援、地域資源活用、企業支援、企業誘致など

農林水産業費	7億7,767万円
商工費	8,805万円 他



貝阿彌委員

### 観光資源の活用を

20周年を迎える柵原ふれあい鉱山公園を大いにPRするよう求める。



岩野委員

### 貴重な資料の公開を

町史編さんにあたり集めた資料を観光などにも有効活用するよう求める。



松島委員

### 県との協力体制が重要

円滑な事業展開のため、あらゆる面で県との関係構築を行うよう求める。

## 特別会計決算(抜粋)



藤井委員

### 国保税、滞納を減らせ

国民健康保険税の不納欠損額が多い<sup>\*</sup>ため、関係課と連携し滞納整理に努めるよう求める。

<sup>\*</sup>時効などにより、回収不能となった債権。



形井委員

### みさきネット更新、周知を

みさきネットの設備更新にあたり、事業内容や工事日程の周知徹底を行うよう求める。



延原委員

### 時効中断措置の徹底

水道使用料をはじめとする滞納について、時効中断措置を必ず行うよう求める。

<sup>\*</sup>滞納が時効とならないよう講じる措置。

### ◎国民健康保険事業

歳入	21億0,165万円
歳出	20億2,972万円

### ◎介護保険事業(保険事業勘定)

歳入	24億7,864万円
歳出	23億8,671万円

### ◎みさきネット事業

歳入	2億0,010万円
歳出	1億9,873万円

### ◎簡易水道事業(計7特別会計)

(柵原3、中央3、旭1事業の会計)

歳入	8億7,009万円
歳出	7億9,660万円

### 特別会計23会計の合計

歳入	68億7,246万円
歳出	65億8,158万円

以上のような審議を経て、美咲町議会は  
29年度一般会計・特別会計決算を**全会一致で認定**しました。

# 災害復旧に16億円

## 補正予算

### ◎一般会計補正予算

一般会計の総額に20億1,655万円を増額する。

#### 【主な歳入】

☆地方交付税

3億8,593万円

☆国庫負担金

5億2,301万円

☆県負担金

3億9,721万円

☆県補助金

1,238万円

☆町債

4億1,450万円

#### 【主な歳出】

★旧氏表記に伴う

住基システムの更新

428万円

★妊婦・乳児健康診査費

102万円

★道路維持費

630万円

★町道舗装事業

679万円

★災害復旧事業費

16億3,596万円

★基金積立金

3億4,000万円

### 税務臨時管理事業

旭総合支所の地図情報システムの一部未搭載データを電子化する。

〔税務臨時管理費 378万円〕



### 災害復旧事業

平成30年7月豪雨による災害に対応するため、農地・公共土木などの復旧を行う。

〔16億3,596万円〕



### みさきネット施設更新事業

本庁舎3階の大会議室の音響設備の更新等を行う。

〔運営管理費 1,243万円〕



### 残土処理場整備事業

旭地域(小山地内)に残土処理場を整備する。

〔残土処理上整備事業 118万円〕



# 9月議会

でこんなことが  
決まりました

# 平成30年7月豪雨

8月6日(臨時議会)、9月3日~9月21日(定例議会)が

## 集会施設整備補助事業

地域の集会施設の整備補助事業を行う。  
〔集会施設整備補助金 210万円〕



## 柵原地域学校建設候補地土質調査

柵原地域学校建設候補地の土質調査を行う。  
〔調査委託料 268万円〕



### 美咲町指定重要文化財保護対策事業 分担金徴収条例を制定

美咲町内にある国および県指定の重要文化財について保護対策事業に要する費用の分担金を受益者から徴する。

### 条例

#### 美咲町有住宅管理条例の一部改正

美咲町有住宅管理条例を一部改正し、単身者の入居を可能にし、町有住宅に入居中、同居の親族が亡くなった場合同居の親族が引き続き入居を可能にできるようにする。

### 請願

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1の復元を図るための2019年度政府予算に係る意見書採択の要請  
(請願者代表)

岡山県教職員組合久苦支部長

山本 昭広  
紹介議員 岩野 正則  
山田 雄二

学校現場の課題が複雑化・困難化する中で一人一人の子どもたちへのきめ細やかな対応をするために必要なことであり全会一致で採択した。

### 補正予算

#### ◎特別会計補正予算

- 【主な歳出】
- ★みさきネット事業  
本庁舎3階の音響設備更新費 1,243万円
- ★柵原北部簡易水道事業  
簡易水道等施設整備費 2,480万円
- ★統合簡易水道事業  
共通維持管理・施設維持管理費 995万円

### 議員発議

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、子どもたちの教育環境改善のために「計画的な教職員定数の改善」と教育の機会均等と水準の維持向上を図るため「義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元」することを求める意見書を日本政府に対して送付した。

# 委員会 の活動

## 総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、まちづくり課、情報交通課、税務課、徴収対策室、上下水道課、建設課、産業観光課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／山田雄二、松島幸一、松田英二、岩野正則、松島 啓の7人で審議しています。

### 【建設課】 豪雨災害復旧16億円

問 16億円の内訳は。

答 公共土木施設や農地・農業用施設災害の復旧、崩土撤去、緊急修繕など。災害査定終了後、早急に発注したい。

### 【まちづくり課】 集会施設整備費補助金

問 集会施設整備費補助金とは、具体的には何をするのか。

答 和室のフローリング化、トイレの洋式化など集会施設の改修を考えている。

### 【税務課】 地図情報システムの電子化

問 この電子化の目的は。

答 現在、地図情報システムで提供しているデータについて旭地域の一部未搭載のデータを電子化するもの。



本庁舎3階 大会議室

近年、紙ではなくデジタルデータを会議資料として使用するペーパーレス会議が増え、本町でも導入が予測される。

総務産業常任委員会では、試験的にペーパーレス会議を実施し、その有効性を確認した。

### 【上下水道課】 漏水調査費の追加

問 漏水対策はどのようにしているのか。

答 流量計や目視によるラインの点検、業者委託による漏水探査などにより有収率の改善に取り組む。

### 【産業観光課】 棚田公園と鉱山資料館と三休公園の修繕費

問 それぞれどこを修繕するのか。

答 棚田公園についてはウッドデッキ、資料館は空調設備と昇降機、三休公園は花見台の手すり、さくら茶屋周辺の舗装など。

### 【徴収対策室】 賦課徴収費の増額

問 賦課徴収費の具体的な用途は。

答 住宅使用料などの支払催促の申し立て手数料。裁判所に申し立てをし、裁判手続きによる請求を念頭に置いている。

## 民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民課、保険年金課、健康推進課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／金谷高子 副委員長／形井 圓 委員／藤井智江、左居喜次、林田 実、江原耕司、貝阿彌幸善の7人で審議しています。

### 【福祉事務所】 国への精算金の返還金

問 29年度の臨時福祉給付金の返還金125万8,000円は何人分なのか。

答 事業費部分について78人分の額。予算執行率97.8%であった。

### 【保険年金課】 認知症地域支援

問 認知症対策については進んでいるのか。

答 認知症の方への声かけ訓練やオレンジカフェ、パンフレットの作成を予定している。

### 【健康推進課】 妊婦乳児健康調査

問 産後うつ病についてはどのような対応をされているのか。

答 医療機関で心のチェックを行い、必要な人はより充実した支援が受けられる。



美作大学 100周年記念ホール

9月10日美作大学で津山市地域包括支援センターフェアが開催され、全委員が参加した。

認知症当事者の体験談や、先進地である福岡県大牟田市や静岡県富士宮市の取り組みを研修した。

先進地では特に地域の見守り、安心事業を進め、各機関との連携が密に取られている。

### 【生涯学習課】 バスケットゴール更新

問 備品購入費362万円は何に使うのか。

答 昨年、中央総合体育館の点検終了後に危険箇所が発見され、使用を中止していた。ゴール2対を更新する。

### 【教育総務課】 柵原地域学校建設の土質調査

問 調査費用268万円が高いが、どこでもこれくらいかかるのか。

答 調査項目によって違うが、どこに出してもこの程度の費用がかかる。

### 意見を付す!

役場の職員は地域住民の意見を聞き、行政の基本である法律・条例・規則などに基づいた適正な行政執行を行わなければならない。

# 議会費あれこれ

## ◎ どれくらいお金がかかっているの？

▲ 議会運営にはこのくらいかかっています。

項目	金額
議員人件費	5,382万6,064円
一般職員人件費	1,481万3,213円
経常管理費	607万4,513円 (議長交際費10万3,200円含む)
各種負担金 (退職議員の年金など)	2,707万3,108円
合計	1億178万6,898円

## ◎ 報酬ってどれくらい？

▲ 月額報酬は次のとおりです。

議長	31万5,000円
副議長	26万2,000円
常任委員長	24万6,000円
議員	24万円

## ◎ 何日くらい活動しているの？

▲ 年間の活動日数です。

議長	258日 (町外・県外を含む)
副議長	148日 (町外・県外を含む)
議員 (議長・副議長を除く12人)	平均129日 (町外・県外を含む)

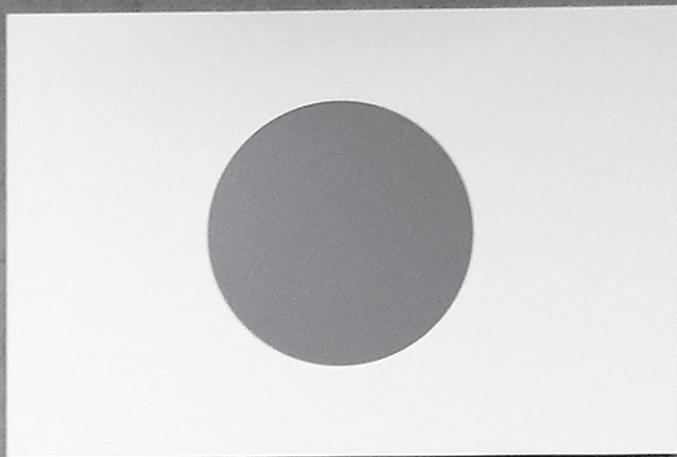
各議員によって異なりますが、表記の数字に各地域行事への参加日数が加算されることになります。

※表記の報酬に加えて期末手当を6月に1.45ヶ月分と12月に1.65ヶ月分支給しています。

※議会だより編集委員6人には年額4万円(委員長は5万円)を支給しています。

※議会選出の監査委員1人には、出頭日数×7,400円を支給しています。

◆他の市町村議会が支給している政務活動費・委員会手当などは支給していません。



# 町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
12	左居 喜次	1. 防災減災に何が必要か 2. 有害鳥獣新たな防止対策は
13	松島 幸一	1. 町独自の水位計設置の考えは 2. 学力調査の受けとめは
14	延原 正憲	1. 美作岡山道路の早期全線開通を 2. 町内の観光資源を活かせ
15	岩野 正則	1. 分譲地の販売計画は 2. 価値ある資料の展示保存の考えは
16	山田 雄二	1. 義務教育学校の住民説明会は 2. 災害対策本部に町長不在の理由は ◇ 美作岡山道路について
17	山本 宏治	1. 災害時ドローン協定の考えは 2. 滞納整理の方法は ◇ ブロック塀の点検 本町の対応は

ページ	議員名	質問内容
18	形井 圓	1. 町が徴収した介護保険料は適切だったか 2. 土砂取り除きと災害対策補助金の併用を ◇ 職員の人事評価について ◇ バイオマス発電施設事業計画について
19	金谷 高子	1. 要支援者避難に関し関係機関との連携は 2. ギネスに挑戦 世界に発信できるようにPRを ◇ 内水対策について ◇ 政策推進監に問う
20	藤井 智江	1. 学校の複合化・長寿命化を 2. 福祉増進に包括的な対応が必要 ◇ 福祉の推進について
21	松島 啓	1. 避難所の設備充実に努めよ 2. 政策推進の手順は

議会だよりには、2問まで掲載  
しています。  
掲載できなかった質問は◇で  
表示しています。

# 質問 防災減災に何が必要か

## 答弁 防災に対する意識を共有する



左居喜次 議員

**問** 防災・減災対策の必要性を訴え、防災体制について問う。  
① 防災・減災を目標とする中で、職員と各機関との連携、また、本町として何が必要と考えるか。

**答** ② 本町の備蓄品の保有状況と、災害時の食料確保についての考えは。  
③ 避難所での情報収集および避難所への情報伝達方法の対策は。

**答** 定本町長  
① 職員の家庭、命、通常業務、色々な制約の中で職員が出来ることは限られてくる。消防団や企業の協力のもと対応する必要がある。また、自主防災組織

を強化することにより、自助・共助・公助の精神が生まれて来る。  
日頃から自主防災組織などを通じ防災に対する意識を共有することが大切である。

**答** 桑元総務課長  
② 備蓄品については別表の通り。緊急時には災害協定などを可能な限り利用し、随時追加も行い確保できたらと思っている。

③ 携帯電話とかスマートフォンが確実な情報収集手段と考えている。今後は、インターネットを中心 to 充実されることを期待している。

### 美咲町の備蓄品保有量

項目	数量
棚田粥	1,866食
飲料水 500mlボトル	201本
飲料水 2.0lボトル	126本
ブルーシート	50枚
土のう袋	1,350枚

これでよいのか備蓄品

# 質問 有害鳥獣新たな防止対策は

## 答弁 狩猟の資格取得を推進する

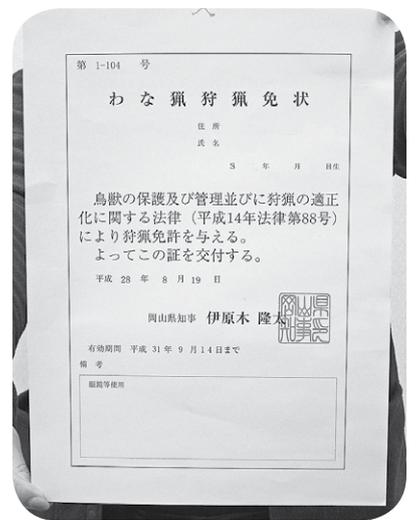


**問** 近年、有害鳥獣の駆除頭数が狩猟者の努力により増加している。

しかし、被害は減少する傾向になく、かなり深刻な状況である。被害の軽減を目指し、今後本町の具体的な方針を問う。

**答** 牧野産業観光課長  
猟友会駆除班や各種団体と協議をし、新たな事業などを検討したい。

**問** また、有害鳥獣の個体の減少を最優先に捉え、あわせて防護柵の設置事業も推進したい。狩猟者も増進したい。やる気になるような新たな防止対策はな



捕ってなくす鳥獣害

また、有効な考えは。いか。

**答** 牧野産業観光課長  
狩猟の資格取得の推進を考慮し、補助制度などを検討したい。

また、捕獲の補助金についても、近隣市町村との調整をとりながら増額ができるものがあるれば検討したい。

**答** 桑元総務課長  
町内の一部集落では補助金に頼らず捕獲の檻をみんなで買って、実績を上げている。意識を共有することで農業意欲の向上につながり、自分たちで何とかすると気持ちも上向く部分がある。



松島幸一 議員

# 質問 町独自の水位計設置の考えは

## 答弁 重要性を鑑み検討したい



迫る濁流の恐怖

※1水位警報システム…水位を超音波センサーで監視し、急激な増水時にブザーや回転灯で知らせる仕組み。

※2Wi-Fi…ケーブルを使わず無線でネットワークに接続するシステム。

### 問

7月豪雨災害を受けて、

- ① 河川やため池への町独自の水位計や水位警報システムの設置
- ② 避難所へのWi-Fi環境の整備

### 答

① 水位計の設置は必要だが、町管理の河川は断面が小さく急峻なため設置が困難である。

水位警報システムは防災上役立つと思うが、予算面など十分な検討が必要である。  
**答 定本町長**  
 ① 水位計は緊急性や重要性に鑑み検討し

ていきたい。

### 答

② 情報を得る手段を考えていくべきだが、まだまだ検討が必要である。

### 答

② 町内のWi-Fi環境はみさきネット回線を利用しており、不特定多数の大容量通信により、みさきネット加入者の速度通信を圧迫する恐れがあるなど、まだまだ研究が必要である。

### 答

② Wi-Fi環境は観光や教育面でのメリットもあるため研究を行いたい。

# 質問

## 学力調査の受けとめは

### 答弁

## 応用力に大きな課題

### 問

30年度学力・学習状況調査結果が公表された。

全国調査で本町は、小学6年生、中学3年生ともに応用問題(B)で県や国の平均を5ポイント前後下回っている。この状況をどう受け止めて分析しているか。

### 答

柴原教育長

小中学校ともに算数、数学に多くの課題がある。特に応用力を問う問題が低く、読解力や論理的思考力、表現力、判断力を身につける必要がある。

そのためには復習を行い、基礎的な力を身につけることが重要だ。また学力向上に一番

大切な、安心して学べる学習環境をつくるため、学校での授業はもちろん、家庭学習の量や質の検討、自主学習時間の確保を学校や家庭と連携し取り組んでいきたい。

### 答

定本町長

学力についてはあまり心配していない。学力が高い方が良いのは当然だが、勉強はやる気になればやっていけると思っている。

### 30年度 全国学力・学習状況調査結果

【小学6年生】

※Aは基礎基本、Bは応用的な問題

	美咲町	岡山県	県平均比	全国	全国比
国語A	69	71	-2.0	70.7	-1.7
国語B	50	54	-4.0	54.7	-4.7
算数A	62	62	0	63.5	-1.5
算数B	45	50	-5.0	51.5	-6.5
理科	59	60	-1.0	60.3	-1.3

文部科学省発表資料による

【中学3年生】

※Aは基礎基本、Bは応用的な問題

	美咲町	岡山県	県平均比	全国	全国比
国語A	75	76	-1.0	76.1	-1.1
国語B	57	59	-2.0	61.2	-4.2
数学A	60	65	-5.0	66.1	-6.1
数学B	40	44	-4.0	46.9	-6.9
理科	62	66	-4.0	66.1	-4.1

文部科学省発表資料による

3学期には町独自で町内統一標準学力調査

# 質問 美作岡山道路の早期全線開通を

## 答弁 一刻も早い完成に極力努力する



延原正憲 議員



寸断された道路網

**問** 7月豪雨を体験し、美作岡山道路の早期全線開通を痛感した。

遅延していた飯岡地区でもやっと地形測量が開始された。  
① 8年後の平成38年に36kmの全線が開通する計画に変更はないか。  
② 4月から専門職員が配置されたが、業務内容は何か。  
③ 地元合意に向けた町の取り組みは。  
④ 飯岡滝谷池全面改修と内水対策は。

**答** 山本柵原総合支所産業建設課長

① 平成38年度完了を目標と聞いている。

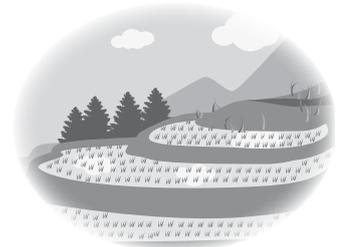
② 地元の要望や意見をまとめ、県との調整を図る業務を担当する。  
③ 道路事業に伴うさまざまな問題や課題を地元とよく協議して、地域の活性化など明るく希望のある事業として進めていきたい。

**答** 定本町長

① この道路の重要性を認識し、一刻も早い完成に極力努力する。  
④ 飯岡滝谷池と内水は道路と3点セットで取り組む。

# 質問 町内の観光資源を活かせ

## 答弁 前向きに取り組みたい



どうする車両の動態保存

**問** 町内には多くの観光資源が活用されないままの状態にある。

① 「柵田法案(仮称)」の研究と早期の取り組み。  
② 柵原鉱山資料館の展示施設のリニューアル。  
③ 片上鉄道吉ヶ原駅舎の車庫整備。  
④ ジビエ食材を観光資源として活用。

**答** 牧野産業観光課長

① 柵田地域振興法案が国会の上程、閣議決定などされたら、事業内容など確認して取り組みたい。  
② 鉱山資料館は集客につながる展示となるよう関係機関と協議したい。

**答** 定本町長

① 柵田は日本の原風景であり、絶対守っていきたい。  
② 鉱山資料館のリニューアルは早急点検し取り組む。  
③ 片上鉄道車両は、保存会と相談して車両屋根の修繕から着手する。

## 質問 分譲地の販売計画は

### 答弁 民間の造成状況を見ながら計画していく

岩野正則 議員



**問** 西川、大戸下、王子の宅地販売促進の考え、また、新たな分譲地の計画はないか。

**答** 光嶋まちづくり課長 本年度、中央地域は美咲中央小学校区内の錦織地区に6区画の分譲地を造成し、来年度販売の計画で現在準備を進めている。

**問** 中央地域に新たな分譲地の開発、販売計画はないか。

**答** 定本町長 西川地区はあと3区画残っている。宣伝をして販売したい。保育園児、小学生、中学生のこれからの推移を見ながら、分譲地に適した所があれば計画していきたい。



好評につき新たな分譲地開発を  
(西川清水団地)

**答** 定本町長 中央地域であれば、加美小学校、美咲中央小学校の推移をみながらどちらの学区にしたほうが良いか見定めていきたい。

**問** 中央地域は特に人気がある。推移を見ながら、町外から呼び込むような前向きな施策はないか。

**答** 定本町長 中央地域であれば、加美小学校、美咲中央小学校の推移をみながらどちらの学区にしたほうが良いか見定めていきたい。

## 質問

### 価値ある資料の 展示保存の考えは

展示保存の考えは

## 答弁

寄付の申し出があれば  
場所の確保も検討したい

**問** 町史編さんについて、町史に係る資料館、民具館を建設し、展示、保存を行い観光や学習拠点をつくる考え、および民具や小道具の提供を呼びかける考えはないか。

**答** 赤木生涯学習課長 町史編さんについて、平成29年に民俗編の発刊ができた。今年度は、地区誌編の発刊に向けて作業を進めている。その後、資料編に取りかかる予定。集められた資料は発刊後に整理し、展示場所も含めて町史編さん室と相談しながら進める。

展示場所については、現在の状況では新たな

建物の建設は難しい。また、提供の呼びかけについては、保存資料の分類や整理、保管方法について専門的な知識も必要なことから、町史編さん室と相談しながら計画的に進めていく。

**答** 定本町長 町内にもたくさん素晴らしい資料があると思う。展示、寄付の申し出があれば、展示場所の確保も検討したい。

**問** 町史編さんあたり豊かな資料が



資料・民具の展示を

# 質問 義務教育学校の住民説明会は

## 答弁 今後も必ず実施する



山田雄二 議員



どうなる義務教育学校

**問** 義務教育学校について3点質問する。

①学校建設に係わって一番の基本文書は柵原中学校区小中一貫教育基本計画(案)であるが、提案がないので議会では一度も議論していない。いつ、議会に提案するのか。

②町長は、柵原地域での住民説明会になぜ出席しないのか。政策で最初に口火を切った町長が出席するのは、町長の責務ではないか。

③住民説明会では、「何回も説明会をやっつけてほしい」という要望が出たが、今後も住民説明会を開くのか。

**答** 柴原教育長

①基本計画(案)は、私なりに作成した試案を基本計画らしき形に体裁を整えて資料として配付したもので、十分な検討ができていない。整備検討委員会である程度の方向づけをしてから議会に提出する。

②説明会については、必ず実施する。

**答** 定本町長

②私に出席の話が無かったので出席していない。政策立案した全てのものについて、私が必ず出席しなければならぬというものは不可能なことである。

# 質問 災害対策本部に町長不在の理由は

## 答弁 2日間徹夜で、3日目は自宅待機

**問** 災害対策について3点質問する。

①対策本部として、住民や職員の意見をどのように集約・検討し、今後に活かすのか。災害マニュアル策定の予定はあるか。

②7月7日の土曜日は、多数の住民が避難した日であるが、災害対策本部に町長は不在であった。災害のさなかにあつて、本部に務めるのが町長としての責務ではないか。

③飯岡地区では、県の想定を超える量の内水が発生し、住民は不安な一夜を過ごすことになった。住民の不安を



想定を超える内水がきた

解消するためにも、県へ新たな説明を求めるよう町から要望できないか。

**答** 桑元総務課長

①地域の人からアンケートを取り、マニュアルに反映できたらと考えている。

**答** 定本町長

②5日と6日は両日、徹夜をしたので、3日目は自宅待機とさせていただいた。

不在の時は副町長、総務課長と連絡を取り指揮をしている。

**答** 山本柵原総合支所産業建設課長

③新たな説明について、県に要望する。



山本宏治 議員

## 質問 災害時ドローン協定の考えは

### 答弁 早急に協定を結ぶ



ドローンの活用に期待

#### 問

災害時における民間事業者および自治体間での応援協定の内容、建設業協会との協定の締結状況はどのようになっているか。また、ドローンの協定、活用への考えはないか。

#### 答

**桑元総務課長**  
災害時応援協定の件数は16件、連携する企業数は18社である。自治体間では岡山県および岡山県内全市町村と災害時応援協定を締結している。

#### 答

内容としては、物資の供給、医療、救護、各種応急復旧活動など被災自治体のサポートをしていただく。  
**國宗建設課長**  
町内の各建設業

#### 問

協会と協定を締結している。今回の災害でもいち早く対応をしていただいた。今後はドローンの活用も十分に視野に入れていきたい。

#### 答

**定本町長**  
ドローンについては、ぜひとも早急に協定を結んでいきたい。  
**前田旭総合支所産業建設課長**  
**業建設課長・山本柵原総合支所産業建設課長**

現場に詳しい地元建設業者の皆様には、昼夜を問わず大変な時に早急な対応をしていただき、この場をかりて厚くお礼を申し上げます。

## 質問

### 滞納整理の方法は

#### 答弁

法令に沿って滞納整理に臨んでいきたい

#### 問

税金、使用料、家賃、給食費、水道代、みさぎネットの利用料など滞納金が3億円近くある。税務課、徴収対策室はどのような方法で回収をしているのか。

#### 答

**浦上税務課長**  
徴収対策室および岡山県市町村滞納整理組合などと連携を図り進めている。

#### 答

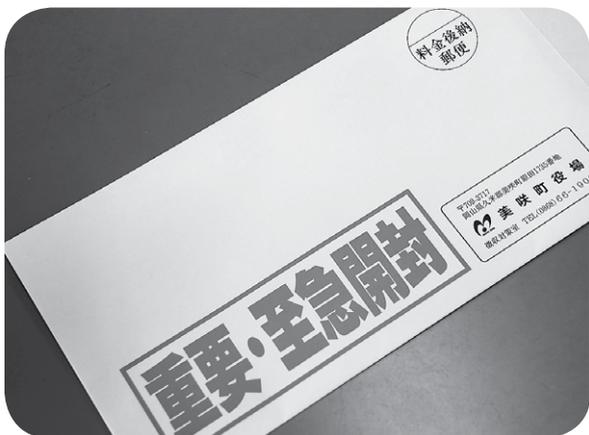
27年度では、地方税と国民健康保険税を合わせた滞納金額は1億8,627万円であったが、29年度決算時には1億1,937万となっており未収金は着実に減少してきている。  
**櫻井徴収対策室長**  
徴収対策室では、

#### 問

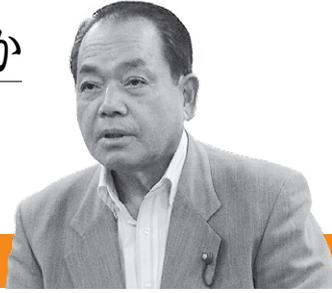
主に債権の回収業務を行っており、早期完納を導くことを第一に考え職務を遂行している。例外を作ることなく法令に沿って滞納整理に臨んでいきたい。

#### 答

**定本町長**  
今の段階では戸別訪問徴収は行っていないが、公平・公正に税金を納めていただく必要がある。これが基本だ。



滞納金 早期完納を



形井 圓 議員

# 質問 町が徴収した介護保険料は適切だったか

## 答弁 委員会で審議し議会が議決



**問** 平成29年度決算  
報告第6期(27、29年)

の報告では、加入者から余分なお金を集めたと思われる。その内容は、①過去の赤字補填8,900万円②積立金1億2,000万円③平成29年度繰越金9,200万円。合計では3億円を超える。介護保険料は「町で必要な介護サービスの総費用」と明記されている。県内1位の介護保険料を5,753人が支払われた。余分に集められたと推測される金額は、一人平均5万2,400円、最

高額は8万9,000円となる。

町が徴収した介護保険料は適切な金額だったのか。

**答** 定本町長

介護保険は、介護保険事業策定委員会で審議され、答申をいただき、議会にかけ議

会が議決している。介護予防とか新しい介護保険制度にのっとり基準額を決めた。

**答** 鈴鹿保険年金課長

介護保険料は、総給付費、被保険者数を参考に計算している。積立金・借入金を合わせると約3億円になる。



# 質問 土砂取り除きと災害対策補助金の併用を

## 答弁 今は併用していないが検討する

**問** 宅地災害に対する補助制度について問う。

現在宅地災害復旧には、土砂取り除き補助金制度があり、これは宅地に土砂が流れ込んだ場合、その土砂を取り除くための補助制度で補助金は上限10万円となっている。

他に小規模林地等災害対策補助事業で、災害の防止、または災害復旧に対する補助制度でその補助金は上限50万円となっている。

宅地に土砂が流れ込んだ場合、まず土砂を取り除かなければならない。その後さらに崩壊の危険がある場合、



もっと使いやすい補助金へ

住民の立場に立つて土砂の取り除きと災害対策補助事業の補助金両方を出すべきだ。

**答** 國宗建設課長

町内で、宅地土砂取り除き補助金申請予定は全体で42件、小規模林地等災害対策補助金の予定は11件となっている。建設課、両支所で協議をしているが、補助金の併用はしていない。現地確認に行ったときに、どちらかを選んでいただくように説明をしている。

**答** 定本町長

宅地の災害復旧について、今は併用していないが検討していく。



金谷高子 議員

**質問** 要支援者避難に関し関係機関との連携は

**答弁** しっかりと連携をとり命を守る仕事をする



みなさんの見守りで安心

**問** 要支援者の登録は法律で定められているが、避難勧告が出たとき行政としてどのように対応するのか。  
また、本町の要支援者の登録状況、登録された名簿はどの範囲まで提供できるのか。

**答** 桑元総務課長 災害が予期される時に速やかに行動ができるよう周知徹底を図っていく。

**答** 稲谷福祉事務所長 現在登録されている方は681人だが、未登録の人に再度通知を出している。名簿には提供の同意をもらっているので、自治会、自主防災組織、民生児童委員、社会福祉協議会、警察、消防係機関に事前にお渡ししている。関係機関との連携を密にしていきたい。

**問** 要支援者の避難に関し、関係各機関との連携は取れているか。

**答** 稲谷福祉事務所長 高齢者二人世帯のご主人が退院したばかりの時台風が発生し、危ないとのことで民生委員、自治会、行政が連携をとり施設に避難されたことがある。想定外の災害が起こるかもわからない。しっかりと連携をとり、命を守る仕事をしていきたい。

**質問**

ギネスに挑戦

世界に発信できるようにPRを

**答弁**

町民が団結し世界一を目指す

**問** たまごかけごはんを世界に発信事業とある。  
この事業はギネス世界記録に挑戦とのことだが、いつ、どこで、どのような競技を計画しているのか。

**答** 牧野産業観光課長 本町がたまごかけごはんを使って美咲町のPRを始めて10年7カ月が経過している。本年8月までに78万人を超える人にたまごかけごはんを食べていただいた。

今年度生卵を使った世界記録に挑戦したいと現在計画をしている。計画については、開催予定は11月頃、場所は柵原ふれあい鉱山公園

園片上鉄道線路敷。内容については、スプーンで卵をつなぐというリレー方式、この競技の世界記録は現在283人であり、28人以上の町民を今後募集していく。

**問** しっかりと盛り上げて、世界に発信できるように、PRをしていただきたい。

**答** 牧野産業観光課長 町民が団結し、世界一を目指すことを発信したい。町民の皆さんの協力をお願いする。



鉱山公園でギネスに挑戦

# 質問 学校の複合化・長寿命化を

## 答弁 より良い方向にもっていききたい



藤井智江 議員



一日も早い中学校の建設を!

### 問

①義務教育学校が子どもたちにとって最善の学校とは言えない。教育長は否定されるが、補助金ありきの義務教育学校創設ではないか。財源の確保が難しいと言うが、柵原中学校を整備する財源はないということか。柵原地域に義務教育学校のモデル校と言うが、実験ではないか。いったん義務教育学校を建設すれば後戻りできない。

学校を下に下ろしてほしいというのは誰もが思うこと。柵原中学校建設に一日も早く取りかかってほしい。普通の中学校であれば、建設予定地も容易に見

### 答

定本町長

①義務教育学校の発端は柵原中学校の改築。義務教育学校を提案し、建設検討委員会場で、それで良からうとなった。

②財政力指数の低い本町にとり一つの理由だが、それが全てではない。

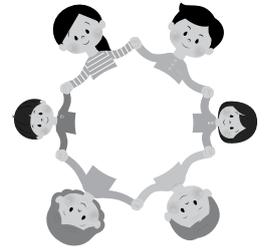
### 答

柴原教育長

義務教育学校を建設する以上は、やり直しがきかない。より良い方向にもっていったらと思う。

# 質問 福祉増進に包括的な対応が必要

## 答弁 行政と地域が連携し取り組んでいる



### 問

自治体の大きな役割は住民の福祉増進だ。

町長は栄養士の増員を求めた時、栄養委員がいると言ひ、災害時には自主防災組織があると言ひ。これでは行政とボランティアが同じになる。行政のすべき仕事は責任をもってやるべきではないか。高齢者、障がい者など区分しないで包括的な対応が必要ではないか。

### 答

鈴木保険年金課長

自治体でできることには限りがある。分野、世代、地域を超え相互に支えられる関係づくりが不可欠な



みんなで楽しく地域づくり

つてくる。

限られた地域資源を有効に活用して必要なサービスをとか地域づくりを進めて行かないといけないと考える。

### 答

清水健康推進課長

包括的な地域づくりに向け行政、地域が連携し、取り組んでいる。

何事にも当てはまることだが、自助、共助、公助の連携により課題を解決していくことが一番重要と考える。

地域への支援と連携、お互いの不足を補い協働できる地域社会を作ること念頭に、事業推進に努めている。



松島 啓 議員

質問

避難所の設備充実に努めよ

答弁

備品などの要綱を整備する

**問** 7月の西日本豪雨で、本町では多くの人が避難を余儀なくされ、道路、河川、農地、家屋などに被害を受けた。今後の対策を問う。

① SNSなどを活用して、迅速な情報収集・伝達する方策が必要ではないか。

② 62施設、延べ584人が避難されていた。その中で、エアコン設備がない避難所があり苦慮されていた。整備するべきではないか。

③ 各小中学校での、防災教育の実施状況および今後の計画は。



避難所の設備充実に求める

**答** 立石情報交通課長  
① インターネット上にフェイスブックのページを設けている。

**答** 定本町長  
② 集会所などの避難所には、エアコンなど備品整備の補助金交付制度がない。早急に要綱を整備する。

**答** 柴原教育長  
③ 小学校では、火災・地震・地震・不審者対応および引き渡しの訓練。中学校では、火災・地震対応の訓練を行っている。

今後は、防災計画を見直しながら、命を守る行動が迅速に取れるように行いたい。

質問

政策推進の手順は

答弁

横断的に対応できる  
仕組みをつくりたい

**問** 公民連携に特化した政策推進室は、事業の見直しで廃止、まちづくり課に吸収された。

今後、町の将来、方向性を左右する政策推進はどのような手順で行うのか。

幹部会などの各種会議の内容が、庁舎内で情報共有・連携できているのか。

**答** 光嶋まちづくり課長  
政策の企画、立案、推進、評価、改善を統括して進めることが重要である。事実ごとくに組織の枠を超えて横断的に対応できる仕組みをつくりたい。

**答** 山本政策推進監  
27年から5カ年

のみさき創生総合戦略を策定し、施策を進めている。本年6月に有識者会議で、取り組みの検証をしており、さまざまな意見が出ています。事業成果が十分出ているとは言いがたい。

**答** 木谷柵原総合支所長  
日誌や日直対応ファイルで情報共有、連携に努めている。

**答** 畑尾旭総合支所長  
各種会議の内容



どうなる今後の美咲町



## 傍聴においでください!!

- 議会では町民の暮らしに大切な、町の仕事やお金の使い方を審議しています。
- 本会議は一般に公開しています。一定の決まりを守っていただければ、どなたでも傍聴できます。
- 本会議の当日、議会事務局で受付をしてください。(事前予約の必要はありません。)
- 傍聴人の定員は30人です。団体の場合は、事前に議会事務局へご連絡ください。

### お問い合わせ先

#### 美咲町議会事務局

〒709-3717 岡山県久米郡美咲町原田1735番地

電話：0868-66-1128 FAX：0868-66-2038



見やすく、わかりやすく

### 議場にモニターを設置

- 9月定例会から議場にモニターが設置されました。
- みさきタウンテレビジョンで放映される映像と同じものが表示されます。
- 一般質問では、議員が議長の許可を得てモニターに静止画を映すことができます。

### 生放送をコントロール

- 前回までは、スタジオで行っていた映像、音声のコントロールを、みさきタウンテレビジョンのスタッフが議場（傍聴席）で行っています。



みさきタウンテレビジョン  
はら たけし  
原 壮司さん

傍聴に来られない人に臨場感が伝わるよう頑張ります。



活発な議論を生中継

## 議会だより先進地に学ぶ

### ●全国町村議会広報コンクール最優秀賞と第7位優良賞を視察

議会広報編集特別委員会は、8月10日に群馬県佐波郡玉村町議会の広報特別委員会および埼玉県大里郡寄居町議会の広報広聴特別委員会へ視察研修を行いました。

### ●多彩な広聴企画

寄居町議会だよりは、平成29年度議会広報全国コンクールでは279の広報の中、最優秀賞を獲得している。議会だよりの名称「お元気ですか、寄居町議会です」の呼びかけから始まる誌面は、多彩な広聴企画により町民が参加する町民のための議会だよりを前面に押し出している。



埼玉県寄居町

### ●早期発行への工夫

「たまむら議会だより」は、平成29年度コンクールでは第7位となる優良賞に入選している。

発行は原則として定例会月の翌月第3月曜日であり、早期発行に向けた努力と工夫がうかがえた。



群馬県玉村町

### 今後において

両町の取り組みを視察し、浮き彫りとなった美咲町議会だよりの課題に対して今後委員会で協議を重ね、わかりやすく読んでもらえる議会だよりはもちろんのこと、議会活動の充実にもつなげたい。

### 岡山県町村議会正副委員長研修会

#### ～委員会の権限と運営～

10月15日、岡山県市町村振興センターにおいて、全国町村議会議長会 議事調査部参与 荒井幸弘氏より「委員会の運営について」講義をいただきました。



### 表紙の紹介

9月11日、柵原中学校運動会に伺いました。生徒たちの頑張っている姿を拝見し、感動しました。



# 町民の皆さんこんにちは

## サークル紹介 第30回

リズムにあわせて♪



# オキナタップダンス教室

### ●いつ頃から活動していますか●

旭地域で3年程度活動しています。今は2人なので生徒が増えることも嬉しいですが、継続してくれることを一番の目標として活動しています。

### ●どんな活動をしていますか●

津山市でも教室をしています。イベントなどでジョイントコンサートをやって皆さんに見ていただきたい。多くの子どもさんの参加を待っています。

### ●メンバー構成は●

西本若葉さん 5年生 活動を始めて半年。  
「覚えたら楽しいし、達成感がある」  
金井英里香さん 5年生 活動を始めて1年半。  
「面白いし難しい所が決まると楽しい」

楽しいステップを  
まち全体に広めてください。

### ●活動を始めたきっかけは●

子どもの数が少なくなってきたので、何か楽しい企画ができないかということで始めた。最初は男の子が1人教室に来て、旭のキャンドルナイトのステージで踊った。それを見た大勢の同級生たちがタップダンス体験に来てくれ、それが今につながっている。

### ●楽しいことは何ですか●

上手に踊れて、お客さんから大きな拍手がもられた時。

### ●これからの活動は●

11月4日旭の文化祭に参加。  
タップダンスの練習を月2回程度行っています。  
・練習日：平日夜、土日昼のうち月2回程度  
・場 所：三休公園民話館

### ●議会に一言お願いします●

子育て支援の一環としてタップダンスの発表の場をつくってください。

### 編集 後記

「7月豪雨により被災されました皆様にお見舞いを申し上げます」。

この言葉から始まった9月定例議会では、一般質問による災害発生時における対応の検証、特別委員会による29年度決算認定などに対する議論を中心に活発な論戦が繰り広げられました。

議会広報委員会では、この内容をできるだけ分かりやすく皆様にお伝えするために、一部誌面を刷新した議会だよりをお届けいたします。

今後も一歩一歩進化していく議会だよりにご期待下さい。

(松田記)

- 議会広報編集特別委員会
- 委員長 左居 喜次
  - 副委員長 藤井 智江
  - 委員 山田 雄二
  - 松島 幸一
  - 松田 英二
  - 金谷 高子